

# 【上映会】ラオス 自然を食べる暮らし

2017年6月23日 19:00~20:30

会場：地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)  
(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F)



■上映プログラム (スタッフによる解説がわかります)  
「森の価値、人の価値～ラオスのカム民族と焼畑農業～」  
「森の救荒食 ゴイ」  
「食を支える自然：ラオスの森と川」

■資料代：500円  
(メコン・ウォッチ会員は無料)  
17時から同じ会場でメコン・ウォッチの総会を開催します。無料でどなたでも参加できます。ご関心の方はぜひお越しください。

食べるものがいつも安定して手に入る。日本では当たり前のように思っていたそれが、災害や食品事故などで簡単に崩れることを最近の私たちは経験しています。東南アジアの国ラオスでは、自然の恵みを生かした食生活が色濃く残っています。また、農業生産が安定しない時にも、林産物などを利用して生き抜くための技術が伝わり、今でも生かされています。メコン・ウォッチでは、ラオスの人々の暮らしの知恵を10年以上にわたって、現地の制作者と共に記録しています。この上映会では、今も残るラオスの人々の知恵を映像から紐解いていきます。また、このような知恵が開発の中で生かされていくにはどうしたら良いのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。(映像はラオス語版、日本語字幕付きです)

申込みフォーム



こちらからも申込み可  
<https://goo.gl/E727pv>

<旅するアジア2017> 主催：上智大学アジア文化研究所

会場：上智大学四谷キャンパス中央図書館 8階 L-821 (無料・事前申し込み不要)

【第3回 5/26】「ラオスのダム開発と国際金融機関」

東 智美 (メコン・ウォッチ)

日時：2017年5月26日 (金) 18:00-20:00 (17:40開場)

概要：世界銀行とアジア開発銀行 (ADB) の支援を受け、ラオスを流れるメコン河の支流に建設されたナムトゥン第2ダム。隣国タイへの輸出を主な目的として建設されたダムは、「ダムによる貧困削減」「持続可能な水力発電開発」につながると謳われてきましたが、操業開始後7年経った今、現地では何が起きているのでしょうか？事例報告を通じて、世銀やADBといった国際金融機関の環境社会配慮政策の課題と、開発援助のあり方について考えます。

【第4回 6/28】「東北タイの伝説と環境問題」

木口 由香 (メコン・ウォッチ)

日時：2017年6月28日 (水) 18:00-20:00 (17:40開場)

概要：木を切る人に罰を与える精霊の棲む森、竜の怒りに触れて国を滅ぼしてしまったお姫様と塩の関係など、東北タイにはその独特な自然環境と文化を伝える不思議な伝説が数多く伝わっています。言い伝えは今でも人々の日々の暮らしに影響を及ぼしていますが、近年では更に、地域の環境を守りたい住民が企業との紛争に活用する例も見られます。伝説の文化的背景、そして環境をめぐる紛争について紹介し、東北タイの現在の環境問題について考えてみます。